

# 公益財団法人 福岡アジア都市研究所 都市政策資料室

## URC資料室だより NO.88 平成27年11月号

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-10-1 福岡市役所北別館 6F  
tel:092-733-5707 fax:092-733-5680 email:library@urc.or.jp

福岡アジア都市研究所は、  
福岡市を中心に産学官が協力して  
設立した研究機関です

### 目次

#### ◆URC資料室ニュース

- ①平成27年度 第2回ミニセミナー開催報告・・・1
- ②資料室休室のお知らせ・・・1

#### ◆URCニュース

- ①平成27年度 第4回 都市セミナー開催予告・・・1
- ②平成27年度 第2回 都市セミナー開催報告・・・2
- ③平成27年度 第3回 都市セミナー開催報告・・・2
- ④2015年アジア都市景観賞授賞式開催報告・・・2

- ◆中国・銀川市スマートシティ国際会議参加報告・・・3
- ◆シアトル出張報告・・・4
- ◆「九州地域におけるSNSを活用した人材マッチング事業研究会」参加報告・・・4
- ◆FDCニュース「ニュースレター(上期活動報告)」作成報告・・・5
- ◆マスコミでみるURCの今・・・5
- ◆「資料速報 平成27年10月受入分(抜粋)」・・・7

### ◆URC資料室ニュース

#### ①平成27年度 第2回ミニセミナー「小さな本屋がつなぐ人とまち

##### 「書店ボックスキューブリックの試み」を開催しました。



10月28日水曜日、平成27年度第2回目のミニセミナーを開催しました。

2001年4月、けやき通りに開店されて以来、大手問屋の自動配本に頼らず、95%をご自身で

選本する独自の品揃えと活動で注目されている書店、ボックスキューブリックの店主 大井実さんにお越しいただき、文化を育む書店のコンセプトやこれまでの活動をご紹介いただきました。

ただ今開催中の「ブックオカ」は、「福岡を本の街に。」

をコンセプトに、大井さんが有志とともに始めたブックフェスティバルで、今年10周年を迎えられました。

出席者の皆さんに、パンフレットをお持ちいただき、「一箱古本市」や「書店員ナイト」、「本と本屋の未来を語ろう車座トーク」など、その盛りだくさんの内容を紹介されました。会期は11月22日(日)までです。

ご興味のある方は、パンフレットがございますので、都市政策資料室へお越しください。野見山曉治さんが描かれた「ブックオカ 2015 特製文庫カバー」も合わせていただきました。大井さんおすすめの本もご紹介いただき、これを機会に一部は資料室の蔵書に加えます。

ミニセミナーへのたくさんのご参加、誠にありがとうございました。

写真出典：URC撮影 (山崎三枝 司書)

#### ②11月30日月曜日から12月4日金曜日まで、蔵書点検のため休室いたします！

期間中は貸出し、閲覧などの資料室利用はできませんのでよろしくお願いいたします。

### ◆URCニュース

#### ①平成27年度 第4回都市セミナー「グローバル都市

##### “FUKUOKA”の未来シナリオ」を開催します。

高い経済成長を続けるアジアに地理的接近性を有する福岡は、2035年まで人口の増加が見込まれ、今後も成長が期待されますが、未来の社会状況は、現在と大きく異なる様相をみせる可能性もあります。そのとき、福岡は世界の中で、どのような都市であるのでしょうか、あるいはどうあるべきでしょうか。

本年度第4回目となる都市セミナーは「グローバル都市“FUKUOKA”の未来シナリオ」と題し、ピケティ『21世紀の資本』など多数の翻訳や評論活



動で活躍中の山形浩生氏(写真)による講演、当研究所で研究中の多角的な指標に基づく福岡の“未来シナリオ”の中間報告、そして、都市成長のキーとなる「産業」「イノベーション」「ICT」「ダイバーシティ」などの分野に関するパネルディスカッションを通じ、福岡市の未来について、会場とともに議論を深めていきます。

開催日時は11月18日水曜日 13:30~17:00、会場は

## ②平成27年度 第2回都市セミナー『超高齢社会 どう描く福岡のシナリオ』を開催しました！

超高齢社会が間近に迫る中、人生をどう設計し、どう生きるか。また、経済が右肩上がりだった時代に形成されてきた、私たちの安全安心な暮らしを支える仕組みを、どう持続可能なものにしていくかを考える場の一つとして、10月1日木曜日、『超高齢社会 どう描く福岡のシナリオ』と題した都市セミナーをアクロス福岡 国際会議場で開催しました。

最初に、国際医療福祉大学大学院の高橋泰教授が「人口減少型社会に向けて老い方・死に方が変わる」と題した講演で、医療や介護の現況や将来展望を通じ「かっこよく老い、かっこよく死ぬよう、自ら考えよう」と訴え、次に、福岡市の荒瀬泰子副市長が「高齢化・長命化が問い直す健康づくりと地域のあり方」と題して、福岡市の現状と、社会・地域で持続可能な施策の方向性等を、それぞれお話しいただきました。続いて、お二人に、NPO 法人アジアン・

アクロス福岡 4階 国際会議場です。内容や申込み方法等の詳細は、URC ホームページ、チラシ等をご覧ください。お申込みは11月13日金曜日当研究所必着です。

関心をお持ちの皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

写真出典：山形浩生氏提供（馬場孝徳 調整係長）

エイジング・ビジネスセンター上席研究員の佐々木喜美代氏をモデレーターに加えた三名での鼎談を行い、老いの期間が長くなる中、納得のいく老後を過ごせ、良いと思える社会を形成するために、このテーマに関して更に市民が関心を高め、考えていくことの大切さが示されました。

なお、セミナー当日の発表資料は、当研究所ホームページにアップしておりますので、ご参照ください。

写真出典：URC撮影（白浜康二 主任研究員）



## ③平成27年度 第3回都市セミナー「チャレンジするアジアの都市景観」を開催しました！



10月27日火曜日 10時から、グランドハイアット福岡において、本年度3回目の都市セミナー「チャレンジするアジアの都市景観」を開催しました。

このセミナーは、同日に実施された2015年アジア都市景観賞授賞式の関連事業として実施したこともあり、受賞都市をはじめ、アジア各国から約80人の方々にご参加いただき、国際色豊かなものとなりました。

セミナーでは、まずアジア景観デザイン学会の佐藤優名誉会長から、開会あいさつ及び趣旨説明が行われました。

その後、事例報告として、坂井猛九州大学教授、金俊榮西京大学（ソウル市）教授、パトリック・リュージャアハビタット協会主席の3氏が順番に登壇し、各国の景観デザインや都市づくりについての報告がなされました。

最後に、4人の講師が壇上に上がり、ディスカッション形式で議論を深めました。会場にお越しの方々も、熱心に耳を傾けておられました。

なお、このセミナーでは、日英同時通訳を取り入れ、会場のみなさんが言語の問題を気にすることなく聞いていただけるよう、配慮を行いました。

今回のセミナーを通じて、日本国内だけでなく、アジア各国の都市景観に触れる貴重な機会となったと同時に、福岡における新たなまちづくりのきっかけになったのではないのでしょうか。

写真出典：URC撮影（馬場孝徳 調整係長）

## ④2015年アジア都市景観賞授賞式を開催しました！

去る10月27日、今年で6回目を迎える「アジア都市景観賞」の授賞式をグランドハイアット福岡にて開催しました。

今回は5カ国11案件が受賞し、中国・韓国・ベトナム・スリランカ、そして、国内は福岡県・萩市・南魚沼市の受賞関係者並びに領事館来賓や招待客を含む延べ80名を超す参加をいただき盛会裏に終えることができました。





今年の授賞式は「ポスターセッション」「表彰式」「交流会」の3部構成で開催されました。最初の「ポスターセッション」では、受賞者よりプロジェクトに関するポスターやパンフレットが披露され、来場者はその特色ある景観形成事業の概要を視覚的に把握することが出来ました。

続く「表彰式」では、冒頭で開催都市代表として福岡市の貞刈厚人 副市長によって、高島市長からのご挨拶が代読されました。続いて、国連ハビタット福岡本部本部長 深澤 良信 氏より主催団体代表挨拶があり、また、アジア景観デザイン学会名誉会長の佐藤 優 氏による選

考報告からは、白熱した審査会が行われたことがうかがえました。

晴れの表彰の舞台では受賞代表者に登壇いただき、賞状と記念の盾が授与されました。会場は大きな拍手に包まれ、その記念的な瞬間をカメラに収めようとする姿が数多く見られました。

「交流会」では、福岡アジア都市研究所の橋田会長による歓迎挨拶に続き、プイ ベトナム総領事による来賓挨拶をいただきました。南魚沼市から差し入れていただいた地酒も振舞われ、友好的な雰囲気の中歓談が弾みました。「都市」や「景観」をキーワードに、参加者は交流を深める有意義な夕べとなりました。



写真出典：URC撮影（夏井圭介 主任研究員）

## ◆中国・銀川市スマートシティ国際会議に参加しました！

9月11日から13日に中国北部の銀川市にて開催された国際会議に出席してきました。この会議は、国際的に活動する団体 TM フォーラムによって毎年数回開催されて



いる「スマートシティ」に関する知見を共有するための会議です。今回は銀川市がホスト都市となり、世界各国から約200名の「スマートシティ」づくりに関わっている様々な分野の専門家が招待されました。発表者・聴講者すべての旅費（しかもビジネスクラス！）と宿泊費を銀川市が負担し、銀川市を世界に向けて大々的にPRしようという意図が見えました。

私は日本から唯一招待された参加者でした。（参加を仲介くださった後藤太一さんに感謝申し上げます）南米やアフリカからの参加者がとくに多く、24時間以上かけて来た人が大勢いました。また、多くの人は北京経由で来ており、北京と銀川の空気の違いを体験していました。銀川市は「スマートシティ」としてCO2排出規制など積極的な取り組みをしてきており、中国の都市とは思えないほど環境が良いのです。また、銀川市は昨年アジア都市景観賞を受賞しており、環境の良さに加えて緑と水が調和した街並みも高く評価されています。今回の会議はまさに銀川市の国際舞台への「お披露目」でした。

会議では数都市の主に CIO（Chief Information

Officer）が登壇し、スマートシティとしての先進的な取り組みを報告しました。個人的には、シンガポールの取り組みに注目しました。小さな都市国家であるから可能となる、都市データ収集と処理によって、都市をうまく制御（コントロール）している印象でした。今回は残念ながら日本の都市は登場せず、私は聴く側におりましたが、先進国と新興国、民主主義国と不完全な民主主義あるいはそうでない国、の違いによって「スマートシティ」の方向性に違いがあるように思いました。より多くの人々が都市データを共有することによって、都市の効率を良くすることが、「スマートシティ」づくりにつながります。データの流れが一方通行なのか、双方通行なのか、が国家の体制によって違うように感じました。これはあくまでも私の個人的な感想ですが、今後のスマートシティの発展の方向性に大きくかわる問題となるように思いました。

銀川市は、じつは住民の約半分は回教徒（イスラム教徒）です。街の標識は中国語とアラビア語で併記されています。私は今まで多くの中国の都市を訪問してきましたが、このような都市ははじめてでした。中国の奥の深さを実感しつつ、銀川をあとにしました。



写真出典・報告：（久保隆行 上席主任研究員）

## ◆シアトル出張に際して

9月中旬、シアトル（米国）にて、福岡市を含む世界10都市が加盟する「国際地域ベンチマーク協議会（IRBC）」のワーキンググループ会議に参加しました。来年ストックホルム（スウェーデン）で開催されるIRBC本会議のテーマ「都市・大学連携」について、シアトル、ミュンヘン、ストックホルム、ヘルシンキ、バルセロナ、バンクーバー等8都市の代表者約15名で三日間議論しました。制度の違いから、各地域によって官学連携の仕組みや状況は異なるものの、「産学官連携がイノベーションを起こし、経済成長や持続可能な都市の実現に寄与する」という考えは共通しており、互いに学び合える要素があることを再認識できる機会となりました。

また、公立の研究大学であるワシントン大学を中心とする産学官連携施設を3か所視察しました。

最初に訪れたキャンパス内のインキュベーション施設「CoMotion（コモーション）」は、2014年に18社の大学発スタートアップ企業を輩出したそうです。バイオテクノロジー系シェア実験室やメイカー施設の運営のほか、ワシントン州の研究助成財団との連携によるシード期の投資を行っています。ローカルおよびグローバルなエコシステムの協働拠点であり、大学と外部のイノベーション関係機関との間を繋ぐことが役目であるとしています。また、2016年秋にワシントン大学と清華大学（中国・北京）が4,000万ドルの資金提供を行ったマイクロソフト社と共同で開校する「GIX（グローバル・イノベーション・エクステンジ）」（テクノロジーとイノベーションに特化した先端技術研究機関）についての話も聞け、イノベーション創出に対する優先順位や期待度の高さを知りました。



次に訪れたのは、ワシントン大学のロースクールの校舎であった建物の2階を改装して開いたコ・ワーキング施設「Startup Hall（スタートアップ・ホール）」です。老舗アクセレレーター、ベンチャー・キャピタル・ファンド、大学の官民パートナーシップによって設立・運営されており、今年10月で開所後1年になりました。オフキャンパスですが、大学から徒歩圏内の「University District（大学地区）」に立地するため、入居起業家達が学生をインターンや新たな事業のパートナーとして受け入れる事が容易で、まさにイノベティブな起業家達のネットワークの要となっています。

## ◆「九州地域におけるSNSを活用した人材マッチング事業研究会」に参加しました！

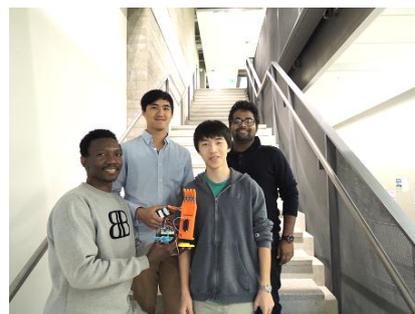
10月23日に九州経済産業局内で開催された、九州グローバル産業人材協議会主催の「九州地域におけるSNSを活用した人材マッチング事業第1回研究会」に参



最後にもう一箇所、シアトル郊外に立地するワシントン大学の分校「ボセル校」のメイカー・スペースを訪れました。ここでは、アーティスト兼開発者で起業家でもあるIvan Owen氏が「Innovator-in-Residence（イノベーター・イン・レジデンス）」として運営を指揮しています。ここは、新しい製品のプロトタイプ作成支援として、単に3Dプリンターなどの道具を使ってみる場だけではなく、起業を目指す学生同士のマッチングの場ともなっており、Owen氏は学生たちのメンター的な役割も担っているのです。例えば、ゲームのコントロールパネルの技術を応用する学生チームと、3Dプリンターで義手を作るチームが共同で取り組むことで、腕にバンド状のパネルをはめて手を動かすと、側にある義手が同じように動くという技術を開発することができました。



以上の3か所の施設を視察する中で、特に印象的だった点は二つあります。一つは学生たちの意識が高いことです。自分たちのプロジェクトについて話す開発チーム



の学生の目は輝き、夢と自信に満ちていて、外に対する意識の高さを感じました。もう一つは、各施設のほとんどの担当者が民間経験者で、明確な目標を持ち実績達成のために熱意と行動力を

もって起業家やその卵達を導いている姿が印象的でした。福岡でも福岡地域戦略推進協議会（Fukuoka D.C.）などが地域の発展のため産学官連携の取組を積極的に行っています。今後、これらの取組がより一層推進されることを期待しています。

写真出典・報告：（山田美里 研究スタッフ）

加しました。産学官（九州経済連合会、麻生塾、九州経済産業局）が連携し、平成23年11月に設立された九州グローバル産業人材協議会。九州の中小企業の海外展

開に際して重要な課題は「人材確保」であり、協議会は九州のブリッジ的な役割を果たすべく、これまで補助金を活用したインターンシップや企業と留学生等との交流会など充実した事業を実施されてきました。

今年度の協議会事業は、企業と留学生との出会いの場を拡充するために、SNSを活用した人材マッチングの有用性について検証されます。



人材マッチングといっても手法は多様化しており、これまでのリアルな出会いの場の重要性を認めつつ、選択肢を広げる手法の一つにS

NSを活用することで、九州で学ぶ留学生と九州の企業が互いを知り、留学生の九州での就職が増え、企業が海

外事業展開する際の後押しとなるための実証実験と研究会を立ち上げて検証していかれるようです。

教育機関、産業界等の有識者の方々が揃う中で、留学生の就職支援の研究をしている私も研究会委員の一員となりました。私も留学生のために、留学生自己PR動画などSNSを活用しているような取組をしていますが、留学生を代表して、留学生の立場や現状を皆さんに知っていただき、留学生の就職・定着支援に繋がるように少しでもお役に立ちたいと思っています。

第1回目は初顔合わせということもあり、委員の方々の自己紹介、フリーディスカッションと続きましたが、各委員さんのお話は大変参考になる話ばかりで、共通認識も多く、関係者一同、九州をもっと活性化したいという熱い思いを抱かれています。方々ばかりで有意義な研究会でした。

研究会は今年度までに後2回開催予定ですが、当該事業が将来に繋がる結果となりますことを期待いたします。

写真出典・報告(柳基憲 研究主査)

## ◆FDCニュース 「ニュースレター

### (上期活動報告)を作成しました。

福岡地域戦略推進協議会(FDC)は、2015年度上期に取り組んだ活動をまとめた「ニュースレター(上期活動報告)」を作成いたしました。

「地方創生に対する取り組み」、「福岡市国家戦略特区の機運醸成のためのイベント開催」、「福岡市水上公園整備における民間事業者公募支援」、そして社会的課題解決に向けた新たな事業手法として注目を集める「ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)」事業の推進など、FDCの幅広い活動とその成果について詳細に記したものです。

また、5つの部会の取り組み状況についての報告も掲載しています。ぜひご覧いただきますようお願いいたします。

都市政策資料室では、ニュースレターの閲覧・貸出・配布を行っています。

### ニュースレター・主なコンテンツ

#### 1.地方創生・地域活性化に関連して

①「まち・ひと・しごと創生基本方針2015ーローカル・アベノミクスの実現にむけてー」(2015年6月閣議決定)でFDCを参考事例にすると明記

②宗像市と連携協定締結 ③地方創生フォーラム開催

#### 2.国家戦略特区に関連して

①特区獲得1周年でフクオカ・ストリーム開催

②空港型免税店開設に係る事業化支援

#### 3.具体的な取り組みと成果

①食の都ふくおか2015 ②新都心交通システム導入へ

③水上公園整備における民間事業者公募支援

④SIBプロジェクト ⑤イノベーションスタジオ福岡

⑥I t'sエイゴTIME ⑦先進都市事例視察

#### 4.部会の取り組み

#### 5.石丸修平新事務局長の抱負

#### 6.媒体で取り上げられた関連記事

①日本経済新聞「日本版LEP」

②財界九州9月号「FDC西田明紀がKAILで講演」など

## ◆マスコミでみる「URC」の今! -最近1か月の情報を中心に-

### ◎新聞

(2015/10/29 日刊建設工業新聞 1p)

国交省/地方都市の民間開発、産学官で一体推進/連携組織の設置・運営支援/FDCの事例が紹介される。

(2015/10/28 西日本新聞 朝刊 29p)

アジア都市景観賞筑後の12市町受賞/当研究所等が主催する「アジア都市景観賞」受賞記事(◎印=以下同じ)

(2015/10/26 富山新聞 17p)

地域活性化へ意見 氷見市の魚々座で対談  
市民研究員 OB 藤浩志さんが十和田市現代美術館館長として対談

(2015/10/22 西日本新聞 朝刊 22p)

みそ蔵最後の公開 24.25日 姪の浜「旧マイヅルみそ」  
当研究所 OB 大塚政徳さんが事務局を務める唐津街道姪浜まちづくり協議会のイベント予告(☆印=以下同じ)

(2015/10/21 日本経済新聞 地方経済面西部特集 34p)

霧島アートの森ー現代彫刻探して触れて(ミュージアム巡礼)/市民研究員 OB 藤浩志さんの美術展開催中(@印=以下関連記事)

(2015/10/20 東京新聞 朝刊 28p)

こちら特報部 安保理常任理事国 目指す日本(上)  
野田順康特別研究員が意見を述べる。(＊印=以下同

- じ)
- (2015/10/20 中日新聞 朝刊 22p)  
特報 国連安保理 常任理入り 遠い道のり国民的  
コンセンサスある? 国際紛争どう貢献? \*
- (2015/10/20 日本海新聞 27p)  
大学生の観光振興策コンテスト 環境大が2位 大  
阪環状線題材のプラン 足で稼いだ内部評価  
当研究所 OB 新井直樹さんが准教授として指導した  
チームが授賞
- (2015/10/17 観光経済新聞 11p)  
霧島アートの森-藤浩志氏の美術展 12月6日まで@
- (2015/10/17 西日本新聞 朝刊 23p)  
灯明コンサート IN 興徳寺 ☆
- (2015/10/16 科学新聞 6p)  
JST 前理事長 中村道治氏に聞く/安浦寛人理事長の九  
大での人材育成プログラムが紹介される。
- (2015/10/16 東京読売新聞 朝刊 33p)  
牧之通り「都市景観賞」南魚沼・塩沢地域 アジア対象  
本県初=新潟◎
- (2015/10/15 西日本新聞 朝刊 24p)  
福岡県/隣国ニュース=山口 萩まちじゅう博物館構想  
アジア都市景観賞受賞/きたきゅうワイド◎
- (2015/10/14 朝日新聞 朝刊 34p)  
「萩まちじゅう博物館」アジア都市景観賞 遺産ありのまま、  
海外の模範にも/山口県 ◎
- (2015/10/13 電気新聞 5p)  
九州大学、地方創生テーマに地域政策提言の発表会  
学生など5チームが参加/当研究所 OB で現在企画委員  
の谷口博文さんがパネル討議の司会を務める。
- (2015/10/11 朝日新聞 朝刊 31p)  
広がる交通網 成熟へ期待 今泉変容のまちから 下  
当研究所 OG の山下永子さんが調査する「かわいさ」が  
紹介される。
- (2015/10/10 南日本新聞 朝刊 24p)  
不要なおもちゃ、芸術に/湧水町の霧島アートの森での  
藤浩志展始まる @
- (2015/10/9 新潟日報 夕刊 6p)  
アクセスランキング(9日)日報 HP から◎
- (2015/10/8 新潟日報 朝刊 1p)  
[NEWS な言葉]町を大切に生かしていく◎
- (2015/10/8 新潟日報 朝刊 30p)  
南魚沼市塩沢「牧之通り」海外から賞賛 県内初アジ  
ア都市景観賞 官民一体の取組み評価◎
- (2015/10/8 日刊建設工業新聞 9p)  
谷口博文九州大学教授/九州建設技術フォーラムで記  
念講演「政策立案に民間の知恵を」  
当研究所 OB で現在企画委員の谷口博文さんが講演
- (2015/10/8 南日本新聞 朝刊 23p)  
藤浩志美術展あす開幕/湧水町の霧島アートの森 @
- (2015/10/7 建設通信新聞 16p)  
九州建設技術フォーラム 2015/143 技術を紹介/防災  
や維持管理テーマ  
当研究所 OB で現在企画委員の谷口博文さんが講演
- (2015/10/7 西日本新聞 夕刊 7p)  
灯明コンサート IN 興徳寺 ☆
- (2015/10/6 日刊建設工業新聞 11p)  
九州経産局ら/10月19日に福岡市で PFI セミナー/  
まちづくり市場創出テーマ  
FDC 石丸修平事務局長が「SIB 導入に向けて」を講演
- (2015/10/5 西日本新聞 夕刊 7p)  
情報 美術館 霧島アートの森@
- (2015/10/5 南日本新聞 朝刊 20p)  
不要おもちゃ、芸術品に変身/湧水町の霧島アートの森@
- (2015/10/3 毎日新聞 地方版 23p)  
アジア都市景観賞/萩市内定「学びの場に活用を」/山  
口◎
- (2015/10/3 山口新聞 )  
萩「まちじゅう博物館構想」アジア都市景観賞受賞◎
- (2015/10/3 読売新聞 朝刊 地方版 31p)  
萩にアジア都市景観賞「まちじゅう博物館構想」評価  
=山口◎
- (2015/10/2 西日本新聞 朝刊 26p)  
企業の海外進出支援 福岡地域戦略推進協議会 米社  
と連携共用オフィス開設/FDC の活動が紹介される。
- (2015/10/1 市政だより 3p)  
九州大学伊都キャンパス 10 周年  
安浦寛人理事長がコメント
- (2015/10/1 日本経済新聞 朝刊 37p)  
シリコンバレー進出支援 福岡の産学官組織 米社  
と連携協定/FDC の活動が紹介される。
- (2015/10/1 南日本新聞 朝刊 23p) 10月のこよみ@
- ◎雑誌
- (2015/10/1 九州マーケティングアイズ VOL.75)  
2~5p「これからの都市づくり 世界における潮流と  
発想」を研究所 OB 後藤太一さんが執筆  
6~7p「第3極の都市」に見る福岡の国際競争力と都  
市づくり」を久保隆行上席主任研究員が執筆  
12~13p「南米都市に見る人を中心にした街づくり  
ークリチバ、メデリンの都市計画」を FDC フェロー  
で本年度第1回都市セミナーの講師榎本拓真さんが  
執筆  
22~24p「アジアと九州の今：猛進する釜山はどこに  
向かうのか？」を研究所 OB 山本公平さんが執筆
- (2015/9/20 財界九州 2015年10月 NO.1093)  
96p 九州創生への道 創業支援過去最高の新事業  
所数廃業率は4位の福岡市/ 当研究所情報戦略室  
の独自集計ランキングが引用される。  
186p 地方創生の担い手としてプロジェクトを推  
進する/FDC 石丸修平事務局長の意気込みが紹介さ  
れる。
- ◎テレビ
- (2015/10/20 18:10~19:00NHK ロクいち!ふくおか)  
「介護のコスト減らす SIB(ソーシャル・インパクト・ボンド)  
とは」に FDC 石丸修平事務局長が出演

**(公財)福岡アジア都市研究所 都市政策資料室 資料速報 平成27年10月受入分(抜粋)**

登録番号	書名 1	著者名 1	出版年月
201500077	九州における外資系企業の誘致に関する実態調査報告書	九州経済国際化推進機構	2015年3月
201500078	GUIDEBOOK FOR ATTRACTING FOREIGN COMPANIES TO KYUSHU	KYUSHU ECONOMY INTERNATIONAL(K	2015年
201500079	外資系企業誘致ガイドブック IN 九州	九州経済国際化推進機構	2015年
201500080	世界の都市の総合的なランク付け手法の構造と特性ー世界の主要都市ランキングの事例研究ーFc	久保隆行	2015年5月
201500081	国のかたちとコミュニティを考える市長の会第19回 社会保障と受益者負担	日本都市センター	2015年9月
201500082	地方創生 この道しかない?	松本克夫	2015年10月
201500084	豊中市の財政構造に関する調査研究ーとよなか都市創造研究所研究報告書ー	とよなか都市創造研究所	2015年3月
201500085	豊中市・沖縄市の都市間交流の新たな展開に関する調査・研究ーとよなか都市創造研究所研究報告書ー	豊中市・沖縄市の都市間交流の新たな展開に関する調査・研究グル	2015年3月
201500086	少子高齢社会における人口の変化と市政への影響に関する調査研究Ⅲー将来人口推計の精度向上および人口の変化に対応するための施策展開の検討ー	とよなか都市創造研究所	2015年3月
201500087	留学生受入による地域活性化の取組みと社会統合の課題に関する国際比較研究 研究成果報告書ー研究課題番号 24531061 平成 24-26 年度 科学研究費補助金 基盤研究Cー	佐藤由利子	2015年3月
201500088	図説九州経済 2016ーOUTLINE OF KYUSHU ECONOMYー	九州経済調査協会	2015年10月
201500089	週刊ダイヤモンド 2015/10/3 いまさら聞けない I o T の全貌 I o T がもたらす「第4次産業革命」の衝撃	ダイヤモンド社	2015年10月
201500090	九州の社会資本の整備ー戦後 70 年の歩みをたどるー四訂版	樗木武	2015年8月
201500091	九州の自然災害と大地ー戦後 70 年のつめ跡を振り返るー五訂版	樗木武	2015年8月
201500092	国際都市ネットワーク活用の有用性と課題の考察ー福岡市を中心事例にーFc	山下永子	2015年5月
201557130	都市計画法令要覧 平成 28 年版	都市計画法制研究会	2015年9月
201557131	高齢社会のアクションリサーチー新たなコミュニティ創りをめざしてー	J S T 社会技術研究開発センター	2015年9月
201557132	稼ぐまちが地方を変えるー誰も言わなかった 10 の鉄則ー	木下斉	2015年9月
201557133	J N T O 日本国際観光統計 2014 年 (平成 26 年) STATISTICS ON TOURISM FOR JAPAN-	日本政府観光局	2015年9月
201557134	都市・文化・まちづくりー新しい都市学の成立をめざしてー	日本都市学会年報事務局	2015年5月
201557135	サービス産業の生産性分析ーマイクロデータによる実証ー	森川正之	2014年2月
201557136	週刊ダイヤモンド 2015/10/17 「読書」を極める! 闘う書店、使い倒せる図書館の歩き方	ダイヤモンド社	2015年10月

201557137	潮 2015. 10 特別企画：戦後70年－平和への視野/高原明生、遠藤誠治、山元一、津田大介 ほか	潮出版社	2015年10月
<b>韓国語資料 書名 1</b>		<b>著者名 1</b>	<b>出版年月</b>
B00001374	海峡圏研究 第15号－REPUBLIC OF KOREA JAPAN－	韓日海峡圏研究機関協議会	2015年9月
B00001375	일본의 녹색산업 정책과 한국에의 시사점 日本のグリーン産業政策と韓国への示唆点 報告書－特別客員研究員報告書－	福岡アジア都市研究所	2015年9月
<b>行政資料 書名 1</b>		<b>著者名 1</b>	<b>出版年月</b>
G20130127	福岡市地区計画等決定内容一覧表	福岡市住宅都市局都市計画部都市計画課地区計画係	2015年9月
G20150112	業務概要 平成26年度	福岡市保健福祉局生活衛生部食品衛生検査所	2015年9月
G20150113	生活衛生関係事業統計 平成26年度	福岡市保健福祉局生活衛生部生活衛生課	2015年10月
G20150114	年報 平成26年度	福岡市立心身障がい福祉センター(あいあいセンター)	2015年6月
G20150115	福岡市市民スポーツ実態調査報告書 平成26年度	福岡市スポーツ振興計画中間見直し検討委員会	2015年3月
G20150116	PORT OF HAKATA 2015－九州とアジア・世界をつなぐ博多港 GATEWAY TO ASIA AND THE WORLD－	福岡市港湾局	2015年8月
G20150117	わたしたちの博多港 Fc	福岡市港湾局総務企画課	2015年3月
G20150118	福岡市の下水道 平成27年度版	福岡市道路下水道局計画部下水道計画課	2015年9月
G20150119	市民の声 平成26年度広聴年報	福岡市市長室広聴課	2015年9月
G20150120	福岡アジアマンス 2012 公式ガイドブック－街が何だか、創造しい。 ASIAN PARTY－Fc	福岡アジアマンス委員会事務局	2012年8月
G20150121	福岡県市町村要覧 平成27年版	福岡県企画・地域振興部市町村支援課	2015年10月

## 今月のおすすめ

資料速報の中から、今月お薦めの資料は、「留学生受入による地域活性化の取組みと社会統合の課題に関する国際比較研究 研究成果報告書」で唐寅主任研究員、柳基憲研究主査の論文も掲載されています。

日本都市学会の年報「都市・文化・まちづくり－新しい都市学の成立をめざして－」には久保隆行上席主任研究員、OG 山下永子さんの論文も掲載されており、お二人にはそれぞれ抜き刷りもいただきました。樗木武前理事長の著書、「九州の社会資本の整備－戦後70年の歩みをたどる－四訂版」「九州の自然災害と大地－戦後70年の

つめ跡を振り返る－五訂版」と韓国から研究員として滞在されていた서규식 (ソギュシク) さんの著書「일본의

녹색산업 정책과 한국에의 시사점 日本のグリーン産業政策と韓国への示唆点 報告書－特別客員研究員報告書－(本文韓国語)」もお薦めです。

**編集後記:** 11月に入り、天神の木々もようやく色付き始めました！

日本シリーズのホークス、強かったですね～もう少し長く楽しめると思っていただけに、ちょっと残念？贅沢ですね！今回は様々な活動があり、盛りだくさんになりました！じっくり読んで下さいましたら幸いです。

平成18年12月に始めたミニセミナーですが、おかげさまで今年10年目を迎えることができました。今回は通算33回目になり、初めてのお客様を多くお迎えできたこと、大変嬉しく思っています。10年目にして、初めて本や読書をテーマにした企画でした。大井さんの書店ブックスキューブリックの評価の高さは、国内だけにとどまらず、日本を特集した「モノクル2015年3月号」でも紹介されました。

もうすぐ福岡マラソン、URCの職員もOBも参加するそうです。完走をお祈りします！

朝夕寒くなって参りました。皆様ご自愛ください。